

待降節第一主日

2021.11.28

ルカ 21・25-28、34-36

カトリック高円寺教会
主任司祭 吉池好高神父

待降節、わたしたちのところに来てくださる救い主、主イエス様は、「今おられ、そしてかつておられ、やがて来られるお方」というふうに黙示録では語られています。(黙示 1・8)

この降誕祭を迎えるにあたって今わたしたちの中に共にいてくださる主に心を向けるために、今日こうして待降節第一の主日のミサに共に集まって、主の降誕を待ち望みながらお祈りを捧げています。

そのイエス様は、聖書に記されている通り、預言者が語っていた通りのお方。改めて、この待降節に当たって、聖書の預言者の言葉に耳を傾けたいと思います。

そのお方は、やがて来られるお方。待降節の最も大切なことは、わたしたちの身を起して、頭を上げて、来られるお方、わたしたちのもとを訪れてくださる救い主、主イエス・キリスト様にわたしたちの心の目を向けることです。どうぞわたしたちの目を開いてください。

俯いて、下を向いて、自分のこと、自分の身の回りのことにしか目が行かないわたしたちに、どうぞ頭を上げる力をお与えください。わたしたちが、どのようなことがあってもこの信仰の姿勢を保ち続けて、わたしたちのもとに来てくださる救い主イエス・キリスト様をいつもお迎えすることができますように。わたしたちが俯いて、自分のことしか、自分の回りの身近なことしか目が行かないわたしたちを、どうぞあなたの力によって、姿勢を真っ直ぐにして、頭を上げて、わたしたちのもとに来てくださる主をお迎えすることができますように。この待降節の祈りをもって、今日のこのミサをお捧げいたしましょう。